

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1	0	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1	1	「現状考えてくださっているので(はい)」
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	1	1	
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12	1	1	
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	1	1	「わかりません(無回答)」
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	8	2	「分らないです。」「健常児との交流は不要。」
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	2	1	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	2	1	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	2	1	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	2	2	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2	1	「制度改正により締め付けが強くなっていることなど、放デイ業界で継続が難しくなっている所などを利用者さん知らないのでは?」 と思ったりします。」
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	2	1	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	1	2	「わかりません(無回答)」
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	12	1	1	
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	4	2	「分らないです。」
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	4	2	「分らないです。」
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	11	2	0	「子どもも親もここからが大好きです」
	18	事業所の支援に満足しているか	12	0	2	「大変満足しております。」

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	4	3	
	2	職員の配置数は適切であるか	1	5	4	「曜日によって△」「送迎等で職員が少なくなる時間帯の安全確保を徹底する。」
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	2	1	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	4	3	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	4	2	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	6	4	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	4	「実施しているかわからない」
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	5	1	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	4	1	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	3	5	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	2	0	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	3	0	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	4	0	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	3	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	0	0	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	4	3	「毎回ではないが、必要な時には行っている。」
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	6	0	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	4	4	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	5	3	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	3	0	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	2	0	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	5	1	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3	4	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2	5	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	6	3	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	6	4	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	4	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	3	0	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	6	4	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	5	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	4	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	5	1	

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	4	1	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	3	3	
	35	個人情報に十分注意しているか	8	2	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	2	1	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	4	1	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	5	2	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	5	2	「現場スタッフ間で」
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	1	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	6	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	3	0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	1	0	

事業所スタッフによるフィードバック

保護者向け評価表について	
環境・体制整備について(1～3)	概ねご満足いただけているようですが、よりスタッフの専門性の強化に努めていきたいと思っております。
適切な支援の提供について(4～6)	健常児との交流について、様々なご意見があるとは思いますが、隣が保育園という恵まれた環境を活かし、今後の活動案を探っていきたくと考えております。
保護者への説明等(7～14)	HP等の活用による情報発信の強化や、保護者がスタッフになんでも聞ける関係性が築けるようコミュニケーションの場を増やしていきたいです。
非常時等の対応(15～16)	整備されているマニュアルについては保護者にお知らせし、不備のマニュアルについては平成31年度中に作成致します。避難訓練については、すでに職員だけで訓練を積み、その後一度利用児童を交えて訓練を実施していますが、今後もより計画的、かつ様々なケースを想定して訓練を行ってまいります。
満足度(17～18)	より多くの利用者様にご満足いただけるよう、活動の見える化と保護者との連携強化を課題とし、来年度の改善目標とする。

事業者向け評価表について	
環境・体制整備について(1～3)	スタッフの意見として、送迎の時間帯にスタッフが足りないという声が上がっています。当事業所では国の基準による5:1の配置に対し、平均6名の支援スタッフを配置しておりますが、送迎で1カ所回るとでスタッフが2名抜けてしまう為、現在支援スタッフの他に送迎専門のドライバーを採用するなどして対応しております。より効果的な職員配置や活動内容を模索し、利用児童の安全が万全となるよう努めて参ります。
業務改善について(4～8)	常勤スタッフと非常勤スタッフで回答内容が分かれる項目がありました。今後は、常勤・非常勤の別なく事業所の体制周知や研修機会の確保等、総合的な職員の資質の向上を目標とし、業務改善を進めてまいります。また第三者評価について、現在のところ当事業所では未実施となっております。2019年度中、遅くとも2020年度中には必ず実施するよう計画的を立てて業務を改善してまいります。
適切な支援の提供(9～19)	スタッフ間での事前の打ち合わせや、支援終了後のフィードバック、週案による提供プログラム内容の検討や個別のケース会議など、提供するサービスの質の向上に努めております。今回のアンケートで、個別支援計画に基づいた支援姿勢の統一を常勤スタッフだけでなく、全スタッフに浸透させる取り組みを増やすことが必要であると感じました。なぜそういう支援をしているのか、ドライバーを含めた全スタッフが把握できる環境作りを考えていきたいと思っております。
関係機関や保護者との連携(20～29)	在籍中の学校との情報共有は行っておりますが、就学前に利用していた事業所との情報共有は当事業所の児童発達支援を除きあまりできておりません。また、障害福祉サービス事業所へ移行する場合の情報共有も、こちらから積極的に行うことはできておりません。相談支援事業所に橋渡しをしてもらいながら、支援の継続性に積極的に協力していきたいと考えております。
保護者への説明責任等(30～37)	保護者からの相談については児童発達支援管理責任者が対応し、苦情等については苦情解決制度を整備しております。非常勤職員に対しても、放課後等デイサービスとは何かという基本的なことから、虐待防止や苦情解決、事業所の体制についての理解を深めてもらうべく、事業所内研修の制度を強化していきたいと考えております。
非常時の対応(38～43)	平成30年度より、新体制として一般職員で構成される委員会が発足し、虐待防止・権利擁護については徹底して周知に努めてきたほか、アレルギーへの対応など命に係わることについての事業所内研修やヒヤリハットの積極的な提出についても指導に力をいれております。非常災害時の対応についても、委員会により計画的に訓練し、いざというときにしっかり対応できるように備えていきたいと考えております。